

会報

NO 181 2023年5月号
(令和5年仏暦2566年)

チェンライ日本人会発行
事務局 jacr15ani@gmail.com

JaCR チェンライ
日本人会
SINCE 2004~

2023年度の総会及び懇親会

4月30日(日) ポワドンホテルで行われました。

事業計画案及び予算案並びに会則改正案は原案通り採択されました。総会当日の申込者を含め正会員は67名と成りました。内35名が出席し、家族会員と合わせて総勢52名の参加と成りました。

来賓のチェンマイ在住者クラブ乗鞍会長様に葬祭互助クラブや遺族年金互助クラブなどのお話を頂きました。また、藤崎領事様からは安全対策連絡協議会からのご報告として、前年度の犯罪情勢、交通事故情勢などのお話を頂きました。

事業計画の要旨

餅つき大会は20周年事業に合わせ12月または1月に実施。遠足は2月に実施。法人会員を募りたい。「チェンマイの生活ガイド」を参考に、半年内を目途としてガイドを作成する、などが盛り込まれました。

なお、総会当日来られなかった方は、年会費1,000バーツの銀行振り込みをお願い致します。振込先銀行 BANGKOK BANK 口座番号 629-016253-3 KEIICHI SETO 振り込みされた方は、お名前をご連絡ください。↑



小杉前会長様、ご苦労様でした。



携帯電話(瀬戸慶一)

089-911-4520

jacr15ani@gmail.com

LINE aboshichiangrai

新入会員の紹介

八巻一憲さん



新役員に天野さんを紹介。



須藤隆史さん



関根和宜さん



新役員ご挨拶（前号の続き）

会計担当

瀬戸慶一（せと けいいち）



お世話になります。瀬戸です。2018年の10月号からチェンライ日本人会の会報を担当し、12月から正式に役員として活動して参りました。その間、事務局として皆さんのお役に立つべく頑張っておりましたが、至らない点も多々あったかと思えます。この度、役員体制も拡充され、私の至らなかった点も他の役員の皆様へお助け頂ける事になり、大変嬉しく思っています。今後は役員一丸と成って、更に皆様のお力に成れます様、頑張る所存ですので宜しくお願い致します。

私は2001年からタイに住み始め、もう足掛け22年と成りました。現在は、メーファールアン大学で日本語講師をしています。お陰様で少しはタイ語も話せる様に成り、その能力も生かして日本人会ではタイ語通訳の担当もする事に成りました。事務局の仕事と併せて、皆様のお役に立てればと思っています。

日々感謝の気持ちを忘れずに今の幸せをいかに感じとれるかという事を心掛けています。まだ若輩者ではございますが、子供三人に恵まれて楽

しく暮らしています。うちでは、家庭環境などの問題で子供を預かって市内の学校に通っている子供もいます。現在、2人の高校生と大学生と一緒に共同生活をしています。何でも気軽に声を掛けて頂ければと存じますので、宜しくお願い申し上げます。



IT担当

高橋秀明（たかはし ひであき）



はじめまして、私はチェンライ日本人会の役員になりました高橋です。私はウェブ関連の担当をしており、当日本人会のウェブサイトやSNSアカウントなどの管理や運営を担当しています。

当日本人会の目標は、在チェンライ日本人の方々のコミュニティ形成を支援し、生活の質の向上に寄与することです。その中でも私が担当しているウェブ関連の目標は、当日本人会の認知度を上げることです。具体的には、ウェブサイトやSNSアカウントを通じて、在チェンライ日本人の方々に当日本人会の情報を届け、交流の場を提供することを目指しています。

また、私自身も在チェンライ日本人として日々生活してい

ます。チェンライは自然豊かでのどかな町ですが、日本人としては言葉や文化の違いに戸惑うこともあります。そんな時に「日本人会があれば安心」と言ってもらえるコミュニティにすることが目標です。

ウェブ関連の知識を活かし、在チェンライ日本人の方々が当日本人会を知り、参加するきっかけを作っていきたいと考えています。どうぞよろしくお願い致します。



第72回ゴルフ愛好会コンペ



次回の予定についてはグループLINEでお知らせします。メンバー外の方は 須藤会員へ098-758-0045



チェンライの市場から

中西英樹

<https://hidenaka24.hatenablog.com/>

※ 本記事は、当会員の中西英樹さんのブログからの転載です。

4月と言えば

4月27日



ソンクラン期間のサンサーイ市場、店も客も少ない



木の枝を挿し、バケツ一杯の砂を奉納する。砂は寺の工事に使われる



タンブンする母娘、お母さんが美人なので撮った

■水かけ祭り

今年もタイ正月であるソンクランとは無縁で過ごした。日本のテレビニュースでもソンクランの水かけが放映されていたそうであるが、タイ全土、津々浦々で水かけをやっているわけではない。チェンライでも市内のサンコンノイ通りなど特定の場所にピックアップトラックが集結し、対向車、歩道からの盛大な水かけ合戦が行われる。家の前を走る 1020 線には荷台に子供たちとドラム缶をのせたトラックが続々と市内に向かっていった。

自分もチェンライに来た頃、知人のピックアップに乗って水かけに参戦した。当時から酒を飲んでの水かけはやめよう、氷入りの水はやめようとかいろいろと禁止事項はあったが、ルールはあっても守られるかどうかは別、のタイであるから、水かけ密集地帯では渋滞の車の運転手にラオカオを勧めるのは当たり前、交通整理にあたっている警官にもコップ酒が渡され、警官も笑顔で受け取り飲み干す。こういった大らかというかハチャメチャの世界が繰り広げられたものだ。

鹿児島からテニス合宿に来られているご夫妻も水かけ合戦に参加されたそうだ。びしょ濡れになって楽しまれたようだが、氷入りの冷水を背中から掛けられて、思わず絶叫、

ホテルに帰って見たら微熱が出て翌日は 静かに寝ていたという。文字通り、年寄りに冷や水だったようだ。

ソンクラン？家で静かに過ごしていましたよ。チェンライに来た頃、先輩は物憂げに答えていたものだ。自分もタイに暮らして 10 余年、同じセリフを呟いている。

■30 度なら涼しいけれど

ソンクラン期間中も朝の日課のテニスには行ったが、さすがにタイ人は来ていなかった。ソンクランは水かけで有名だが、本来は宗教行事であるから、お寺にタンブンに出かけたり、年長者に糸を手首に巻いてもらったりと、結構忙しいようだ。ソンクラン期間中に近くのサンサーイ市場に行ってみたら、大半の屋台は休みで客もちらほらしかいない。1 月元旦、旧正月の中国春節よりも少ないのではないかな。やはりタイの庶民にとってはタイ正月ソンクランが一番、新年（ピーマイ）を意識するときのようだ。

ソンクランは暑季真っ盛りである。気温は 40 度上がる。暑くて勉強などできないから学校も夏休みである。暑いから水かけは氷水でない限り、掛けるほうも掛けられる方も爽快かもしれない。以前、暑季なのに気温が上がらず、日中 30 度前後の曇天のもとで水かけをやったが何となく気分

が乗らなかったことを覚えている。

タイ中部では最高気温 40 度半ばというところもあったようだが、北タイ、チェンライでも 40 度前後に気温が上がった。フォルツァ 350 には温度計がついている。道路の照り返しもあり、気温 40 度でも体感温度はそれ以上となる。熱風の中を 80 キロで飛ばしても全然、爽やかでない。

■とうとう雨が降った

早く雨季が来ないかな、スコールが来ないかな、と心待ちにしていたところ、4 月も下旬となってやっとパーユ（暴風雨のスコール）がやってきた。うだるような暑い日の夜半、急に風が吹いてくる。チェンライでは年間を通して殆ど風が吹かない。木々を大きく揺らす強風はパーユの前兆とすぐわかる。風は雲を呼び、雲また雨を呼ぶ。やがて稲妻の閃光、それに少し遅れて雷鳴が聞こえてくる。そして数分もしないうちに大粒の雨が降ってくる。時には雹を伴うこともある雷雨である。何十日も晴天続き、それも後半は煙害に霞む太陽の下での高温だったから、我が家の庇にバラバラと当たる雨音を聞いたときには思わずガツポーズをしたくらいだ。「好雨知時節」は杜甫の「春夜、雨を喜ぶ」の一節でスコールとは全く関係がないのだが、北タイの片隅で、オー、やっと

雨が降ってくれた、と嬉しい気持ちになって脈絡もなく「好雨時節を知り」と呟いてしまう。

このところ長期にわたって 200-300、時には危険レベルの 300 を越えていた AQI が、ほぼ健康に問題なしの 100 以下に下がった。少し道路の見通しもよくなった。

これからも暑い日が続くとは思いますが、夕方から夜にかけてスコールが来る日も増えてくるだろう。チェンライは日本の田舎の家にカキの木があるように、マンゴーを植えている家が多い。この雨でマンゴーが日に日に大きくなって熟れてくる。雨季にはマンゴスチン、ライチ、ラムヤイと南国の果物が出回ってくる。常夏の地で年中、T シャツと短パンで過ごしていても果物で季節の移り変わりを感じる。

パーユも暑季と雨季の分水嶺、雨のあとの涼気を楽しめる季節がやってきた。ああ、嬉しい。



パーユで倒れた木、根は殆ど張っていないことがわかる



映画好き、クラシック音楽好きの方を募集中

湯口昭治

yuguchi@lion.ocn.ne.jp

083-534-2617

映画、TV ドラマ、クラシック音楽、フォークソングなど

映画（主にアメリカ製作のアクション映画、SF 映画）、TV ドラマ（主にアメリカ制作の CSI：科学捜査班、NCIS：ネイビー犯罪捜査班、そして FBI：特別捜査班）、クラシック音楽（特に交響曲、協奏曲、管弦楽曲、ベートーヴェン、マーラー等）フォークソング（特に中島みゆき、吉田拓郎、井上陽水等）を共有できる人を探しています。やはり、趣味を共有できる人と、好きな映画の話、音楽の話をしたいのですが、同じ趣味、興味をお持ちの方が、いらっしゃいましたら、是非ご連絡を下さい。また、見たい映画、音楽が有りましたら、ご連絡を下さい。現在保管しています映画、音楽のリストが有りますので、メール等でお送りできます。ご連絡をお待ちしています。

以下は日本人会発足当初、財団化を目指して認可された書類です。
 その後の手続きの煩雑性などに依り、休眠状態になってしまいましたが、在住者の老後の問題や、単身者死亡時の問題など、当会としても放置出来ない喫緊の課題では無いでしょうか。
 会としても今後、より組織的に永続的な運営も求められるこの様な課題に対処する為、十分議論して行く必要が有ると考えて居ます。



『以下は和訳』

協会または組織を設立するためのライセンス

下記の目的を持って平岩 逸雄によるチェンライ日本タイ協会の設立許可を求めた。

1. チェンライの人々及び日本人、団体の良き理解の場です。
2. 日本に関する興味のある方への情報サービスを行います。
3. 会員の共同活動の中心です。
4. チェンライ在住の日本人を含む災害時、会員とその家族への支援、政府への援助を行います。
5. 協会は、いかなる政治活動にも関与しません。
6. 協会は、ビリヤード等のギャンブルに関与しません。

国民の良き伝統と文化の共有する利益を見付け、モラルを損ないません。

オフィス所在地 665/7-8 Sri Kerd Road, Tambon Wiang, Amphoe Mueang Chiang Rai, Chiang Rai Province

国家文化委員会は許可をしましたので、シャキ文化委員会の命令に従ってください。また国家文化評議会の規則を厳格に遵守してください。

許可日 2003 年 11 月 17 日

プリソン・ポンカドキーラック

国家文化評議会事務局長



協会登録証

この証明書は、チェンライ県の協会登録機関であることを示す為に発行されます。協会はチェンライ日本タイ協会として登録されました。意図されて居るのは創造の中心です。チェンライ県に住む人々、日本人と組織との間の良好な理解、日本に関する興味のある方の為の情報サービス、会員の活動拠点です。政府に支援を提供し、災害時にチェンライに住む日本人も含めて、メンバーと家族を支援するのに役立てます。協会はいかなる政治活動にも関与しておらず、協会はビリヤードを主催しません。協会の本部は民商法典第 82 条に従い、665 / 7-8 Sri Kerd Road, Tambon Wiang, Amphoe Mueang Chiang Rai, Chiang Rai に在ります。

2003 年 12 月 1 日に付与されました。

スリプロム・ホミョク

副知事

(チェンライ県知事の代理)

チェンライ県財団登録官

慣例：この証明書を本店の公共の場所で提示し、協会の支部事務所で証明書のコピーを提示します（存在する場合）。



協会理事一覧

- | | |
|----------------------|------|
| 1. Mr. Itsuo HIRAIWA | 協会会長 |
| 2. Mr. Ken KOJIMA | 副会長 |
| 3. Mr. Go ARISAWA | 秘書 |
| 4. ラム・シットソッド | 監査役 |
| 5. サニー・シンタワニッチ | 登録官 |